

JPIC NEWS LETTER

通巻 183号

2016年12月6日

BOOK EXPO 2016 秋の陣～活かせ！書店力～ 過去最多1,043名の書店人が来場！

去る11月8日、グランフロント大阪コングレコ
ンベンションセンター（大阪市）にて「BOOK
EXPO 2016 秋の陣 ～活かせ！書店力～」（主
催：BOOK EXPO実行委員会 協力：JPIC）が
開催されました。



積極的な商談が交わされた各ブース

6回目を迎える今年は、233社・237ブースと
過去最高の出展社数で、関西圏の書店人を迎え
ました。堀 博明実行委員長（堀廣旭堂 専務取
締役・茨木市）の挨拶で始まった開会セレモ
ニーには、世話人会の面々と日本書店商業組合
船坂良雄会長が応援に駆けつけ、事前に募集し
た「西日本POP王決定戦（※1）」の受賞者発表
と表彰式も併催されました。

開会後は、来場した多くの書店人が目当ての
ブースに向かい、熱心に商談を交わす姿が会場
のあちらこちらで見られました。



「西日本POP王決定戦」応募作品全430点に見入る来場者



『りんごかもしれない』などで知られるヨシタケシンスケさん

児童書コーナーではヨシタケシンスケさんの
サイン会とトーク企画を開催。多くの書店人で
行列ができ、整理券が配布開始直後に予定枚数
を終了するなど、好評を博しました。他コー
ナーでも、OBOP（※2）との連動企画で歴代受
賞者3名（高田郁さん、朝井まかてさん、増山実
さん）のトークセッションとサイン会、平野啓
一郎さんや京都本大賞の望月麻衣さんのサイン
会、関西在住の人気料理ブロガーによる料理本
トーク企画、絵本カバーでエコバッグを作る
ワークショップなどの多彩なイベントが開催さ
れました。

	本年度	昨年度
来場者合計 (報道・出展者含む)	1,936人	1,889人
内訳：書店	1,043人	1,021人
商談成立件数	5,831件	6,129件
商談成立金額	98,007,713 円	91,143,283 円

来場者からは、「年々質が上がっていて、商
談がしやすい」「書店人、出版人が一同に会す
このイベントにパワーをもらっている」
等々、前向きな声を聞くことができました。
BOOK EXPOは来年も業界に欠かせない集いと
して、工夫や改善を重ねてまいります。

※1「西日本POP王決定戦」とは、店頭を彩るPOPの
西日本No.1を決める書店員参加型イベント。初
の試みながら、予想を大きく上回る430点もの応
募がありました。

※2 Osaka Book One Projectとは、大阪の書店と販
売会社が力を併せて「ほんまに読んでほしい本」
を選ぶ企画です。

第63回評議員会 第111回理事会を開催

去る11月28日、日本出版クラブ会館にて、開催いたしました。

肥田理事長 冒頭挨拶 (要旨)

JPICの平成28年度上半期は、お蔭様で無事終了することができました。とくに『上野の森 親子フェスタ』の再開には、小峰委員長をはじめ、多くの方々のご協力を得ました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

内閣府との協力による「ジャパンライブラリー」は今年で3年目になります。当初は英訳書籍の寄贈を目的としておりましたが、販売してはどうかというご意見もございましたので、JPICが出版元になり、多くの方々に手に取っていただくための施策に取り組み始めました。

また先日は、ハリー・ポッター翻訳者の松岡佑子さんを迎えた中高生の読書会の様子を見てきました。「若い人たちもなかなかやるなあ」と感心した一方、出版界の方からは「『最近では本を読むことがダサイ』という風潮があり、読書会などが本を通じて自分の想いを発表できる数少ない機会である」とのご意見を伺いました。また、そういった事情を改善すべく「『本はかっこいい。読書している人たちは美しい』という風なPRができないか」とのご提案をいただいております。このことは、我々にとっては大変大事なことだと思います。皆様とご一緒に、今後努力してまいりたいと思います。

議事は以下の4議案です。

【第1号議案】

平成28年度上半期の事業報告並びに収支報告

【第2号議案】

平成28年度下半期事業について

【第3号議案】

平成29年度子どもゆめ基金助成申請について

【第4号議案】

役員の一部交代について

- ・ 退任 理事/風間賢一郎 (中央社相談役)
- ・ 新任 理事/加藤 悟 (中央社社長)

いずれも満場一致にて承認されました。



第3回 ゆかいに漱石 夏川草介さん ご登壇

去る11月6日、大阪市・ツイン21MIDタワーにて、夏目漱石没後100年記念事業「ゆかいに漱石～100年読まれ続ける魅力を探る～」(主催：朝日新聞社、岩波書店、JPIC 後援：大阪府教育委員会 子どもゆめ基金助成活動)を開催いたしました。7/18 東京会場(講演：茂木健一郎さん)、8/27 熊本会場(講演：姜尚中さん、西川美和さん)に続く第3回目として、作家で医師の夏川草介さん(「神様のカルテ」シリーズ作者)にご登壇いただき、会場には300名を超える聴衆が集まりました。



ペンネームの「夏」は夏目漱石から、「草」は漱石の『草枕』から取ったという夏川草介さん。冒頭に、漱石の『こころ』を通じてみる人間の孤独の問題について語り、医師として現場に立つ立場からは「人間は普段多くの人に囲まれているけれども、最期はやっぱり独りなのだ」と持論を述べました。その他、漱石を通じてみる現代社会の問題についてや、漱石の魅力がもっとも詰まっている作品として『門』の紹介も。質疑応答では、高校生の参加者達から、今抱えている悩みや、作家と医師を両立することについての質問が寄せられ、盛況のうちに閉会いたしました。



NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス：<http://www.jpic.or.jp>

賛助会員様のイベント情報を発信します！

文責：中泉 淳(nakaizumi@jpico.or.jp)